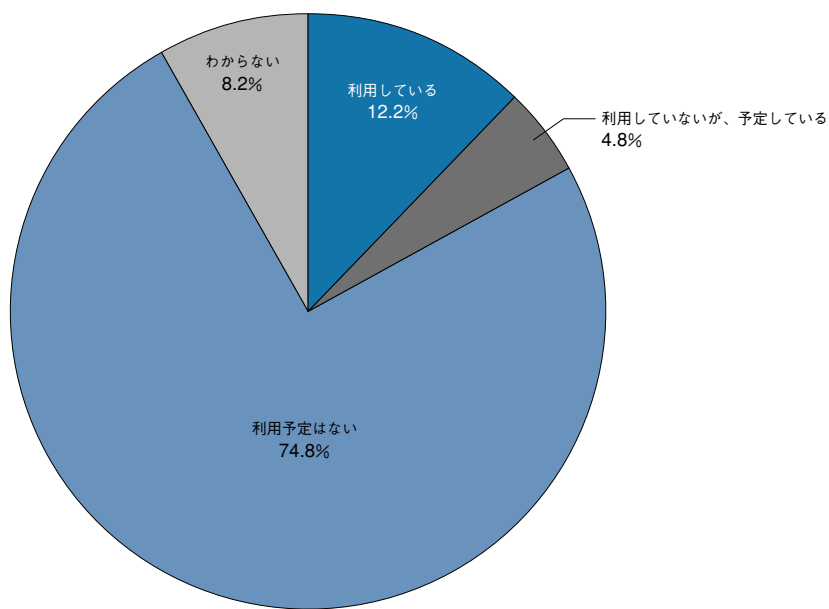


ASP

ASPの利用予定はない企業が全体の4分の3

資料4-3-27 ASP利用の有無 N=818

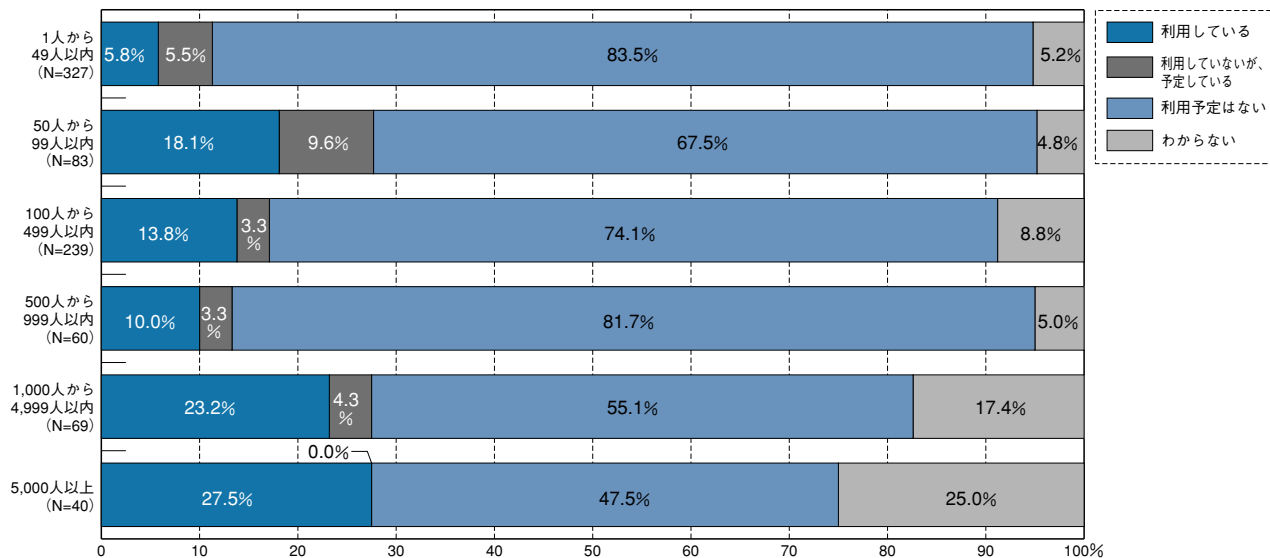


企業は、ウェブサーバーやメールサーバーといった基本的なインターネット関連機能に関しては、ホスティングやアウトソーシングサービスを積極的に利用しているが、ASP（アプリケーション・サービス・プロバイダー）利用に関しては、一般的にあまり積極的ではないようだ。「ASPの利用予定はない」という回答が、全体の4分の3に達している。

©impress,2004

企業規模に比例してASP利用率が高い

資料4-3-28 従業員規模別 ASP利用の有無



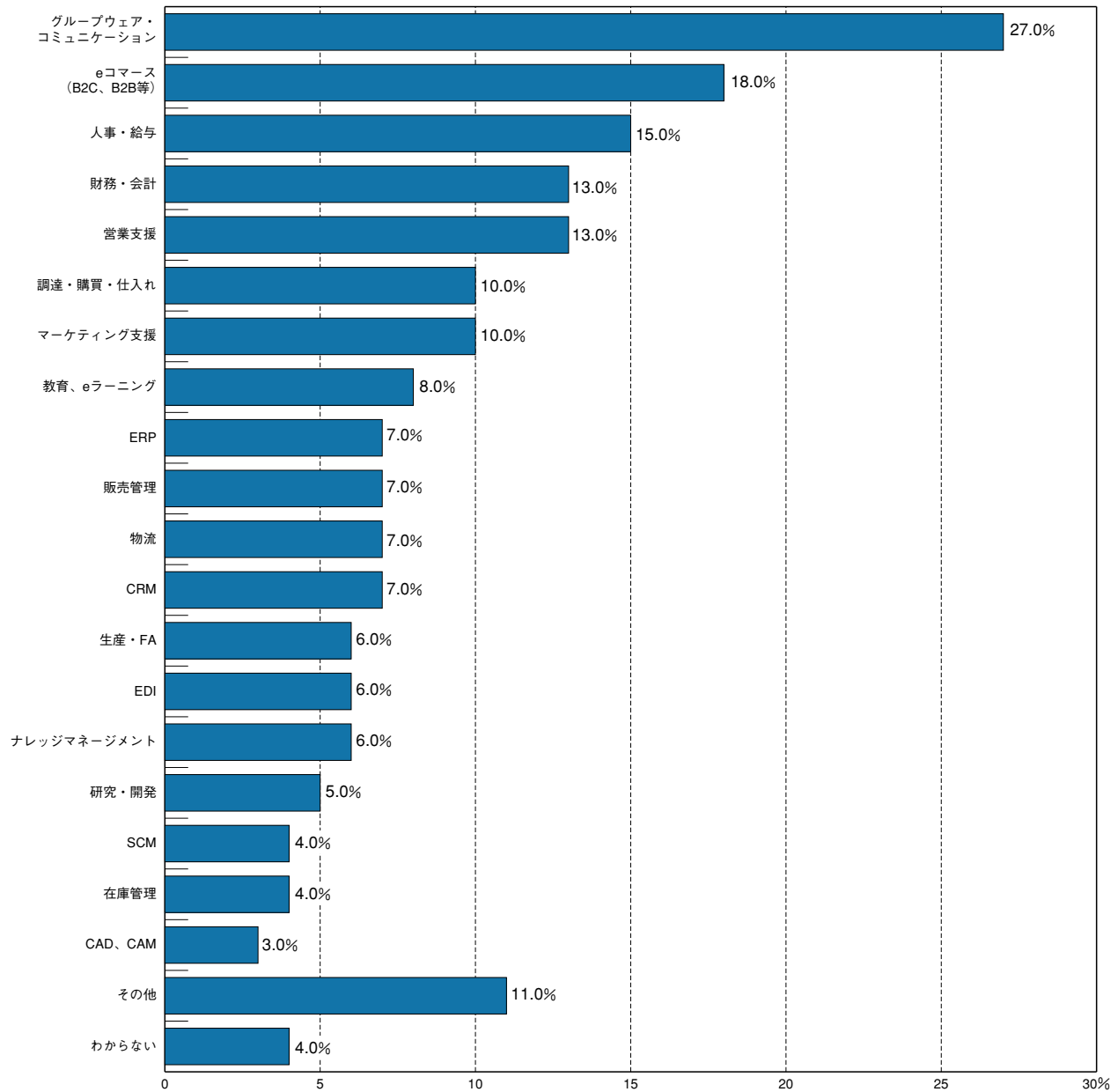
前項の回答を従業員規模別に見たものである。大まかに言えば、企業規模に比例して、ASPをすでに利用している比率が高くなっている。しかし、これもあまりはっきりした傾向ではない。従業員規模の大きい企業ほど、「わからない」の比率が高まっているが、これは、魅力的なサービスが今後出てくれば活用してみたいという意思の表われではないだろうか。

©impress,2004

ASP

ASPはグループウェアの利用が主流

資料4-3-29 ASPの利用目的 N=100



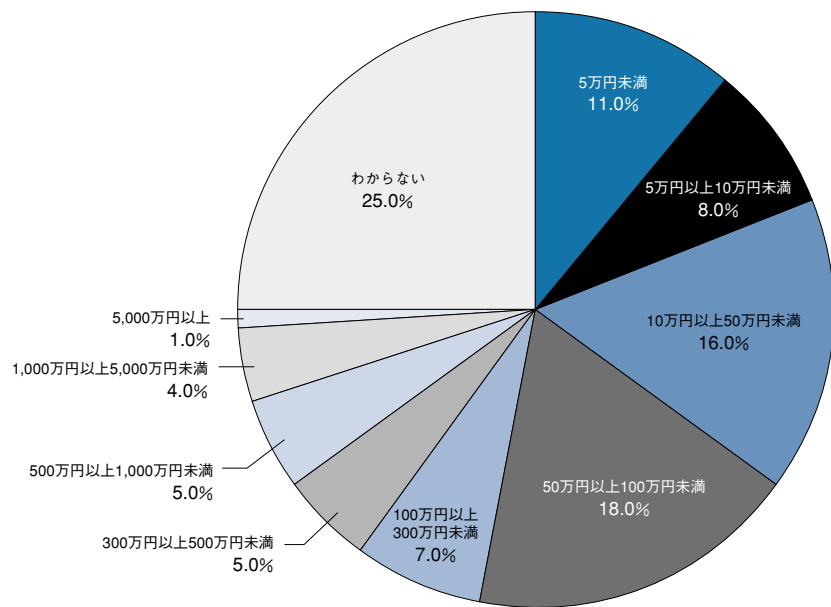
ASPを使っているか、使う予定がある企業に、利用目的を聞いた結果である。ASPサービスとして一般的なものから順にリストされていることが分かる。グループウェア的なサービスは、当初から一貫してASPのうちでもっとも利用されており、今後もさらに機能が拡大された形で利用されていく可能性がある。

©impress,2004

ASP

ASPの年間利用コストは50万円から100万円

資料4-3-30 ASPの年間利用コスト N=100



©impress,2004

すでにASPを利用している企業における年間利用コストは、50万円から100万円がもっとも多かった。しかし、月額数万円のレベルでは、本格的な利用と表現することはできない。年間300万円以上、ASPを利用している企業が15%という数字を多いと見るか少ないと見るか。微妙なところである。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp